

# 長沼町立学校部活動地域移行に関するアンケート結果と分析【概要版】

## 調査概要

目的 部活動地域移行に向けての理解・関心度  
それぞれの立場の人の参画への意向や課題感等の洗い出し

期間 令和6年6月7日～6月21日

対象 回収数(回収率)

長沼町立中学校1～3年 106(42%)

長沼町立小学校5・6年 72

小中学校教職員 34(小47%中36.6%)

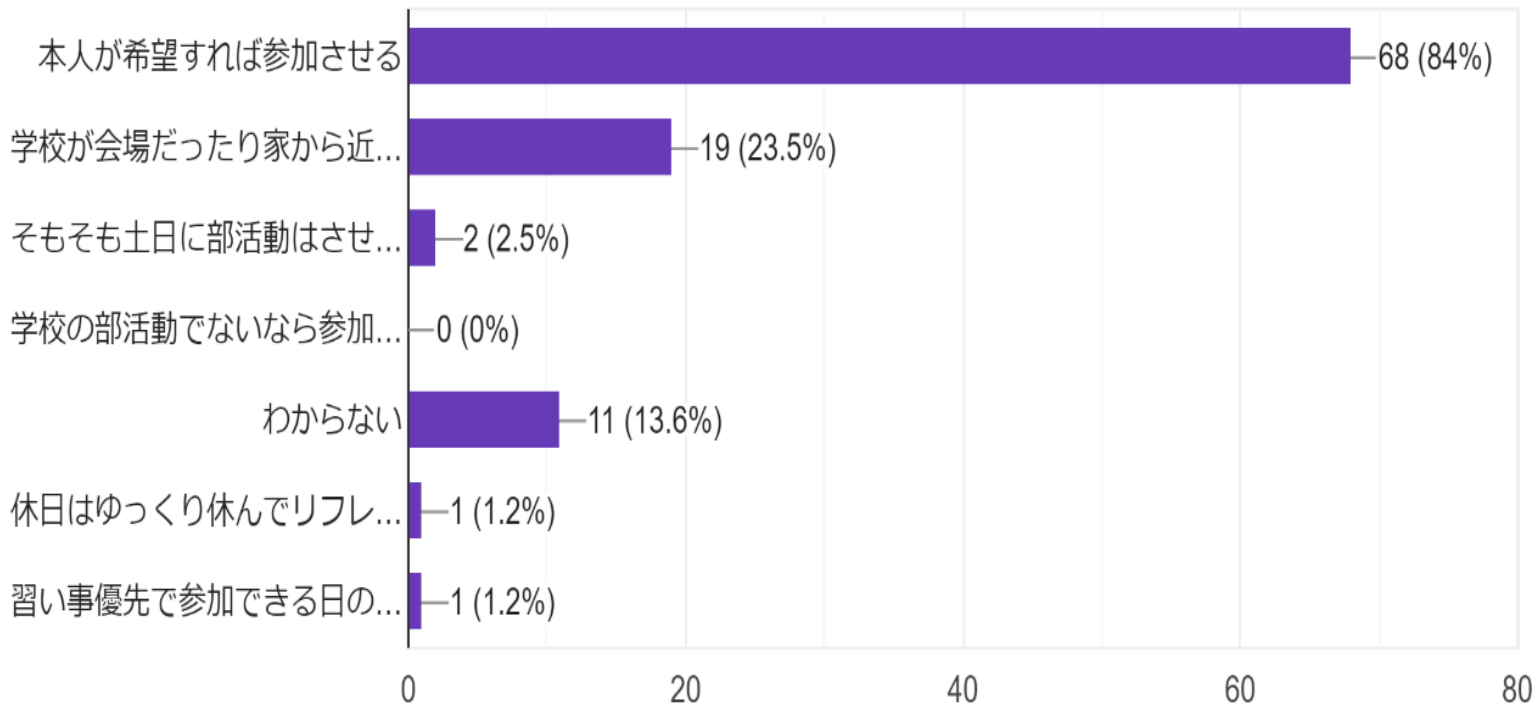
小中学生をもつ保護者 82

一般町民 15

# 保護者の考え

【5】 休日の部活動が学校の部活動でなくなった...地域の活動に参加させますか。(複数選択可)

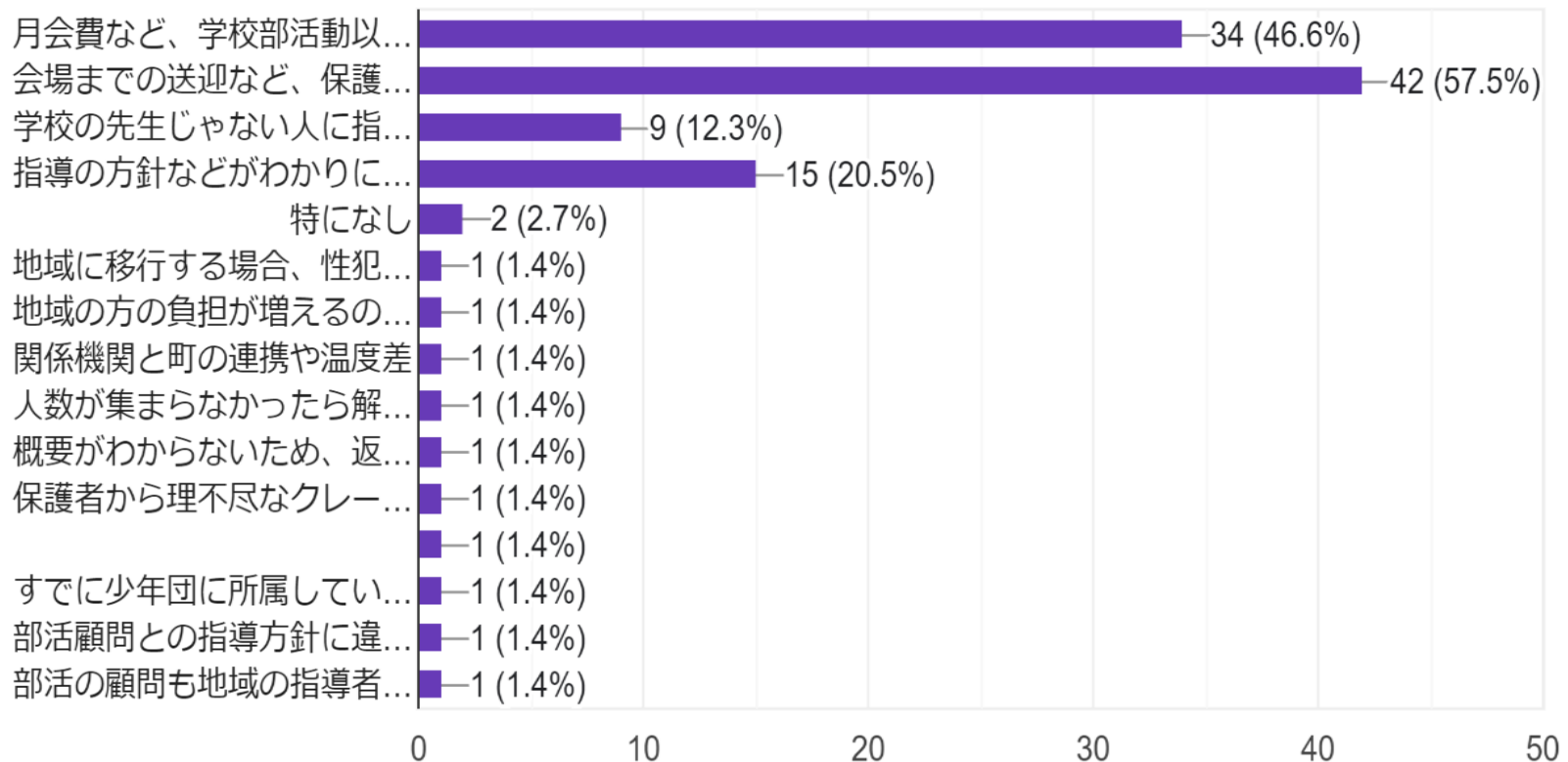
81件の回答



# 保護者の考え

【6】 部活動が地域に移行した場合不安なことはどのようなことですか。（複数選択可）

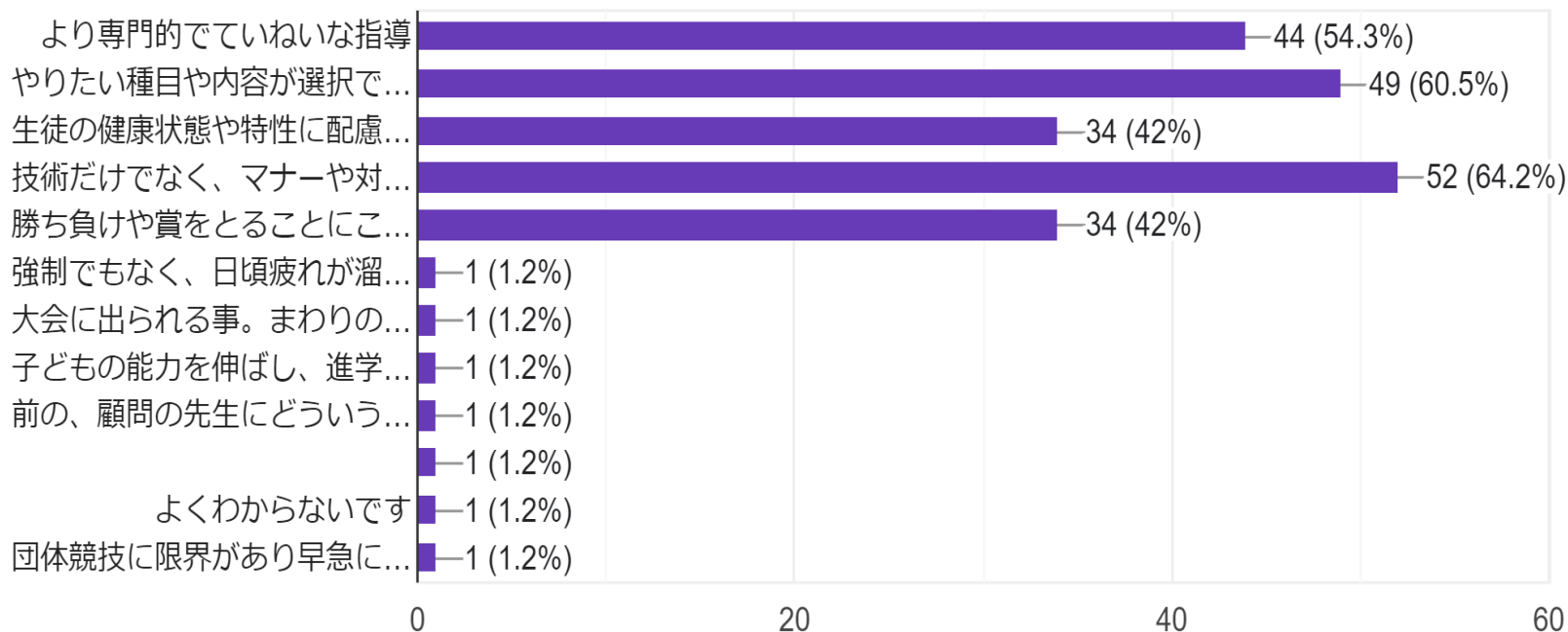
73件の回答



# 保護者の考え

【7】 どのような活動ならより満足できると思いますか。（複数選択可）

81件の回答



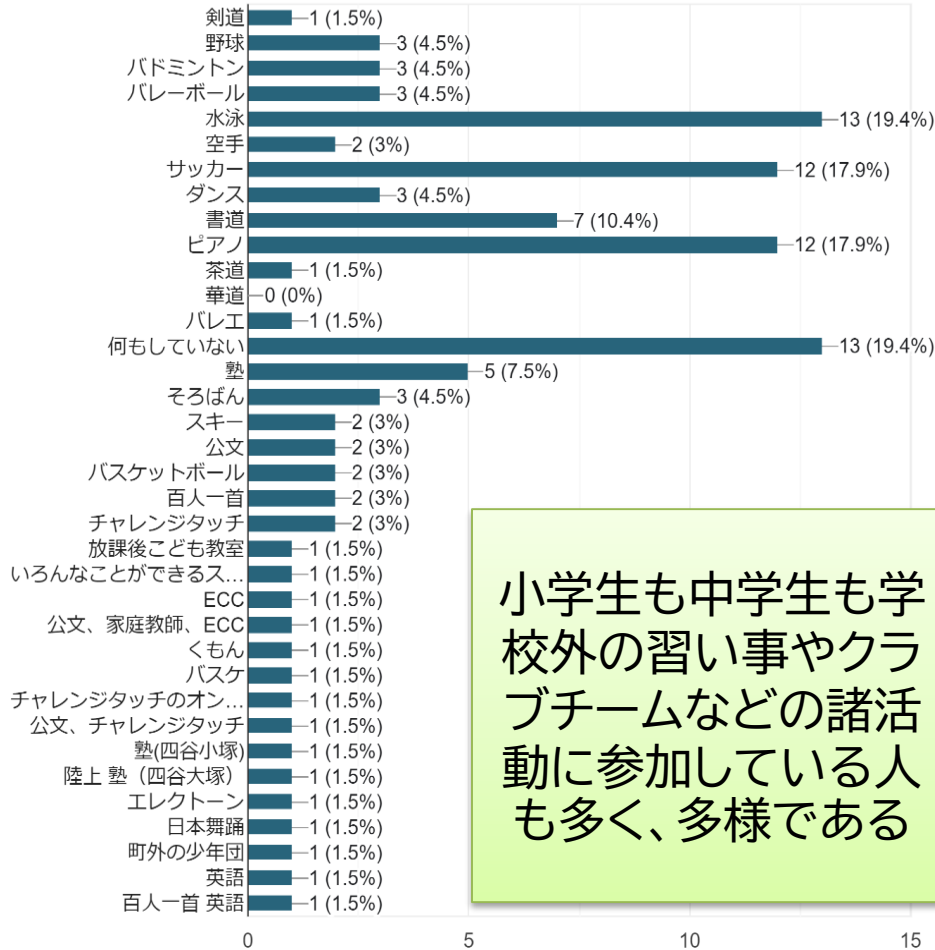
# 保護者の意見

- 土日は部活動をやめてほしい。子どもたちも家庭で過ごす時間が必要。
- 学校の先生方の負担が大きいので地域移行したほうがいい。
- 忙しい中土日も含めて部活動を指導してくださることに感謝しています。
- 人も少なく、居住区域も広い長沼町なので、活動はシンプルに。
- 指導者は人材バンクを作るなどのしくみと予算措置が必要。
- 子どもたちが放課後やりたいという主体的な希望をどうしたら実現できるか一緒に考えてくれる場所があり、その結果地域移行の選択肢を提示できるようなしくみがあったらすてきだと思う。
- 子どもたちがやりたい活動を、楽しく取り組めることを大事にしたい。
- 部活動の地域移行は休日だけでなく、平日とセットで考える必要がある。
- 中学生だけでなく、地域のすべての人を対象に検討して、当該スポーツができる地域人材全員が参加していくことにより、スポーツによる健康増進、まちづくりができる。
- 町の中にスポーツクラブの要素を含めた団体を招聘し、指定管理してはどうか。
- 教育委員会や行政が介入し、官民一体となってすすめるべき。
- 謝金の支払い、そのための予算措置など思い切った改革が必要。
- 保護者としては親が送迎する前提で活動するのはやめてほしい。

# 小中学生の状況

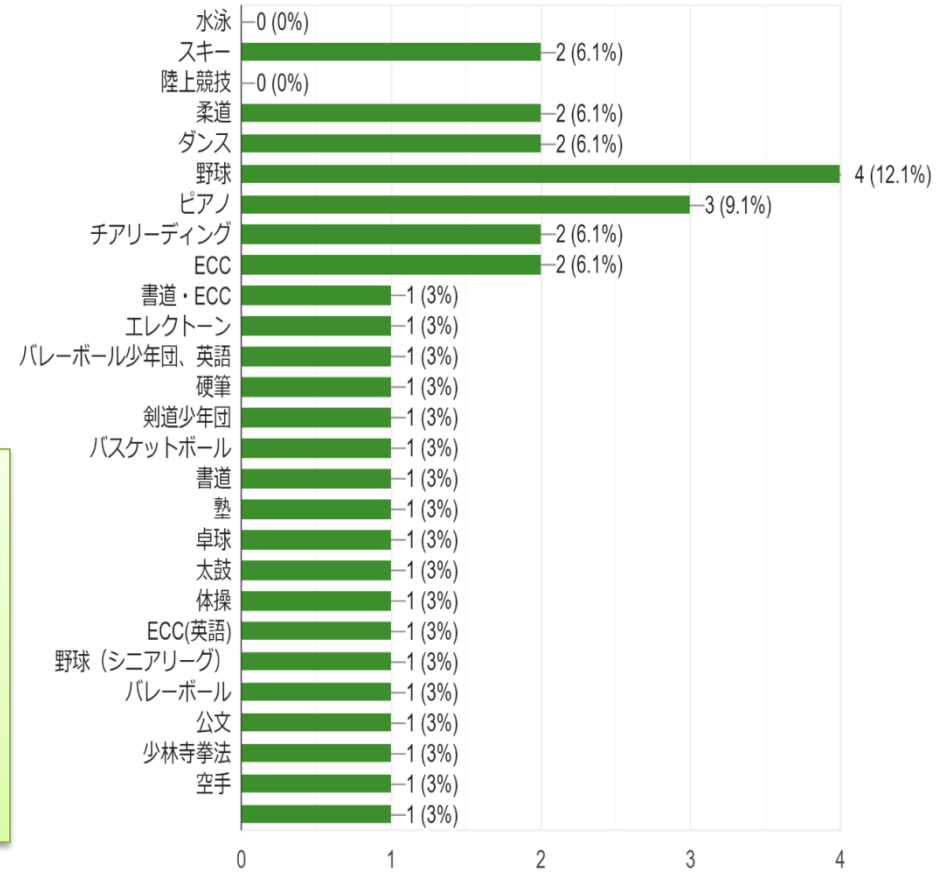
【2】1で回答したことについて、あてはまるものをすべて選んでください。

67件の回答



【3】学校の部活動ではない活動(クラブチーム...入っている人は該当するものを選んでください。

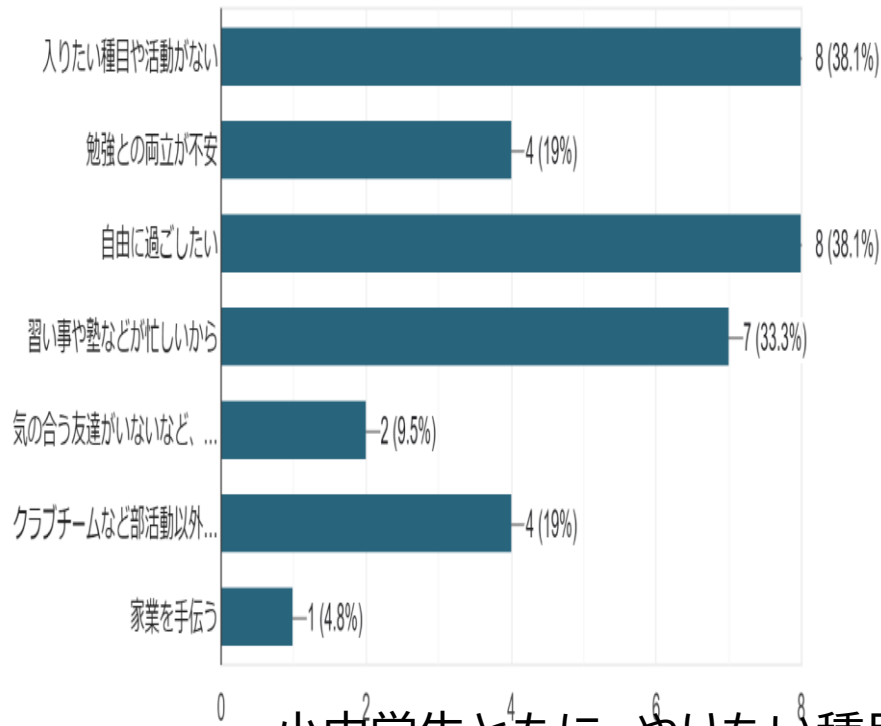
33件の回答



# 部活に入りたくない理由

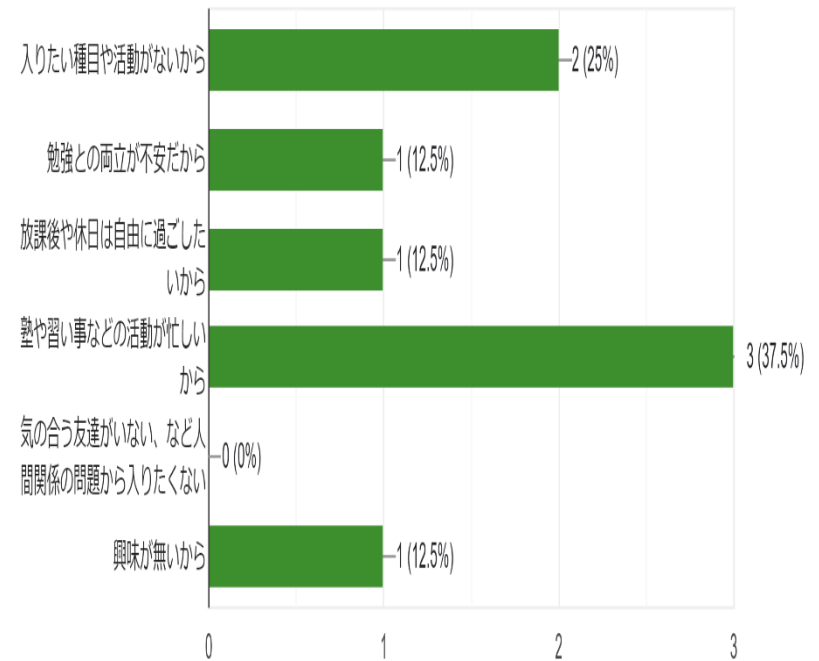
【4】部活動に入りたくないと答えた人はどのような理由からですか。選んでください。

21件の回答



【4】部活動にも校外活動にも入っていない人は理由を選んでください。

8件の回答



小中学生ともに、やりたい種目がない、他の活動(塾など)が忙しいなど忙しさも理由の一つに上がっている。

# 小中学生の思い・考え

## 【小学生】

- ・多くの小学生が放課後学校外で学び活動している。53人(73.6%)
- ・中学校で学校の部活に入りたいと回答した生徒は58%

## 【中学校】

部活に求めるものが多岐にわたるので齟齬も生まれる。技の向上を重視する生徒もいれば楽しくやりたいなど価値観の違いがある。活動時間の長さも同じく、長いと感じている生徒いれば短くて不満という生徒もいる。

## 【共通】

- ・児童生徒が活動したい活動は多岐にわたっている。(次頁)
- ・特に大きな不安を感じていない子どももいるが、学業との両立に不安を感じている。
- ・部活に入りたくない、自分の自由な時間が欲しいという児童生徒の存在

# 長沼の子どもたちが求める部活動

～こんな部活があったらいいな～

## TEC系

E-sports (3)

PC (2)

プログラミング

音ゲー

## 学術・カルチャー系

ダンス (4) 軽音楽 (3) 写真 (3)

料理・手芸 (6)

英会話 (2) 百人一首 (3) 科学 (2)

勉強 (2)

世界史 合唱 陶芸 茶道 書道

フラワーアレンジ お笑い

## スポーツ系

女子卓球 野球 男子バレーボール

ドッジボール

ハンドボール フェンシング

弓道 柔道 水泳

スキー・スノーボード

女子バスケットボール

部活入りたくない (8)

休みが多い部がいい

### 考察

調査対象は長沼小5・6年児童と  
長沼中全学年生徒

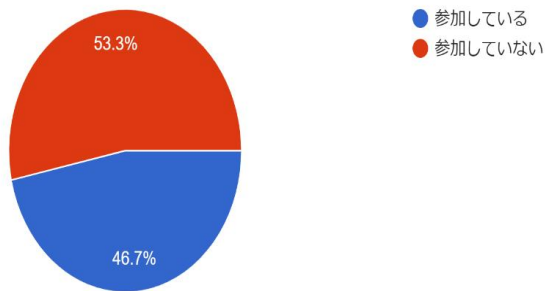
回収率は %

テクノロジー系へ志向が増えてきている。また、個人で追究できるものへの志向も強い傾向もある。つまり、昭和・平成の昔と比べると子どもたちの志向は多様化している。

# 町民の思いや考え

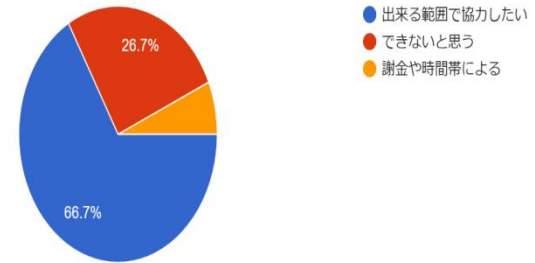
【3】 あなたご自身は、スポーツや文化団体等に加入して活動していますか。

15件の回答



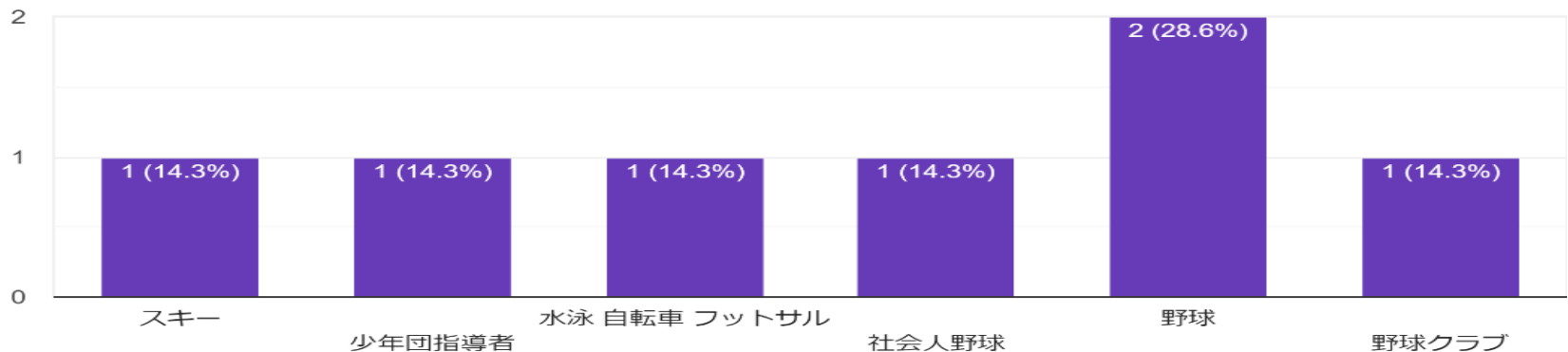
【5】 地域の中学生が希望した場合、スポーツや文化活動などを中学生にご指導いただけますか。

15件の回答



【4】 活動されている方は、さしつかえなければ、どのような活動をなさっていますか。

7件の回答



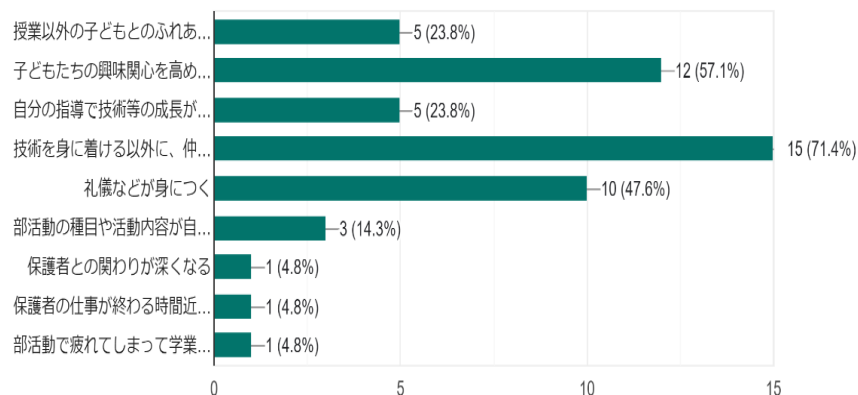
# 町民の思いや考え

- 部活動の対象の中学生だけでなく、幅広い年齢の方々が参加でき、その中で教え合える環境を作るのが良いと思う。子どもの全体数も少なく、子どもだけでプレーするには不十分なスポーツもあり、年齢幅を広げれば地域の運動に対する意識向上にもつながると思う
- 地域で部活動を教える人が足りないという話も聞くが、教えるというスタイルではなく一緒に活動できればコーチというハードルは下がり、多くのスポーツに興味がある方を巻き込んで活動ができると思
- 指導はできないが、指導者が来るまでの間生徒の見守りをしたり町外の試合等の引率の手伝いなど、できることがあるのではないかと考えています。
- 学校の先生に負けないくらい子供達の気持ちを考えられる地域の方に協力して欲しいです
- 町や教育員会が主体となり移行に進んで欲しい。一部の人達が頑張っているのは見えるがもっと熱を入れて運営すべきだと思います。
- 大人の都合よりも子供のために最重点に皆んなで考えていきたい。

# 教職員の思い・考え

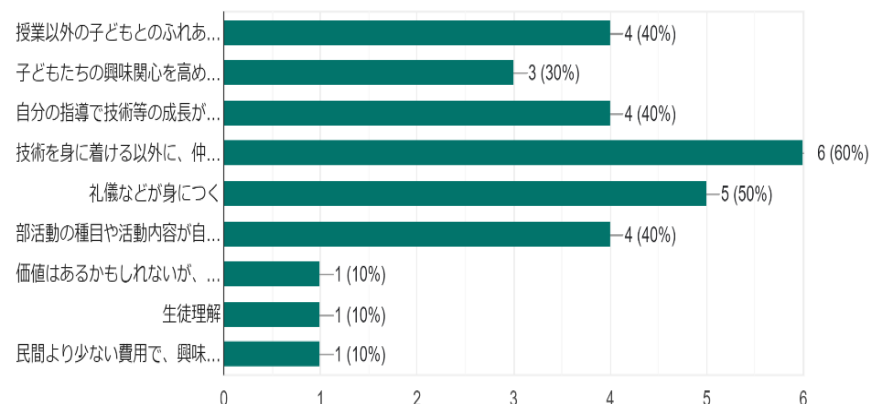
【4】部活動の必要性や価値についてどのようなお考えをお持ちですか

21件の回答



【4】部活動の必要性や価値についてどのようなお考えをお持ちですか。

10件の回答



小中学校それぞれの教職員は部活動の意義は理解しているものの、日常業務が多く部活動につかう時間もエネルギーも生み出せない状況が見える。

# 教職員の意見

- 専門的な知識を持つ人に指導をお願いするべき。
- 社会体育への移行、地域移行を早急に進めてほしい。
- 人材確保が課題。
  - 土日の練習・大会引率で長時間拘束され、休みがないのは心身の健康がもたない。
  - 部活動の意義は子どもたちにとって大きいのでしっかりしたサポート体制を。
  - 自分が指導できる種目であれば指導できるが、経験もスキルもない種目の顧問を充てられてもできない。
  - 指導したい人、指導が難しい人両方の要望が叶うシステムを考えてほしい。
  - 地域移行の中でトラブル等があった場合も対応等は当該団体で行って学校に丸投げしないでほしい。学校との情報共有は必要。
  - 長沼は他の市町村に比べて地域移行への動きが遅いので早急に進めてほしい。
  - 部活指導をすると、放課後の業務が18時以降開始となり、残業不可避となる。部活担当を教員以外でできれば業務改善ができる。
  - 地域移行は指導者の人材確保が課題。
  - 平日と休日で指導者が変わることで生徒が混乱しないか心配。

**【提言】**教員が授業や評価、生徒指導、進路指導、教務事務の傍ら、平日は週に2日、土曜日または日曜日も部活指導や大会引率を担う制度はもう限界ではないか。適切な報酬もなく、一部の種目では指導者講習等の費用も自己負担である。とはいえ部活動指導に意欲をもっている教職員も一部存在する。「部活を担う先生はいい先生」のような単純な印象にならないように、地域移行した場合には兼職・兼業として適切な報酬を出すしくみをつくる必要がある。また、学校も部活に入ったら3年間続けるべき、とか、部活動に熱心に取り組んだら進学に有利というバイアスを捨てるべきだろう

## Q部活動が地域移行になったら、指導ができるか

指導したい 9.2%

できない 72.7%

わからない 18.2%

【2】土日祝日の部活動を地域移行した場合、部...いですか。(兼職となり、報酬が支払われます)  
11件の回答

